

# DMG MORI SR presentation



SR presentation  
February 2017

# 本日より紹介する内容

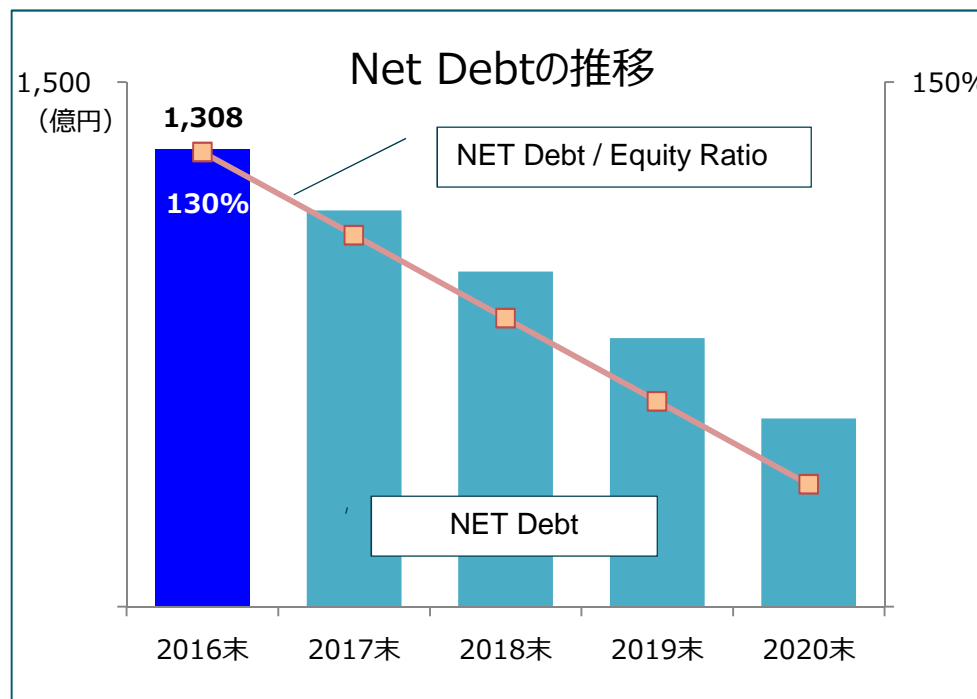
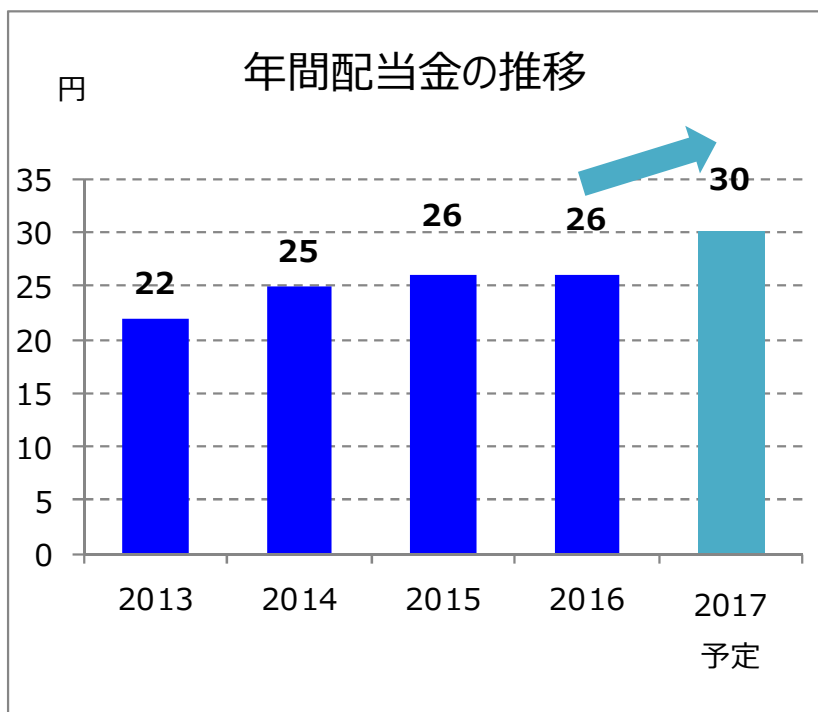
- 1) 財務ハイライト
- 2) 新しいガバナンス体制
- 3) 当社企業理念及び財団設立について
- 4) 株主総会までのスケジュール

# 財務ハイライト

(億円)	2014年 プロ FORMA	2015年 プロ FORMA	2016年 実績	2017年 予想
売上収益	4,121	4,284	3,766	3,800
営業利益 (一過性費用前)	386	360	130	220
営業利益率 (%)	9.4%	8.4%	3.5%	5.8%
一過性費用/利益	-	51	-110	-
営業利益	386	411	20	220
営業利益率 (%)	9.4%	9.6%	0.5%	5.8%
金融収支		-21	-32	-40
(うち、DAに伴う経済補償額)		-	(-7)	(-20)
当期利益	251	358	-57	120
親会社所有者に帰属	173	324	-78	110
非支配持分帰属	78	34	21	10
1株あたり年間配当金 (円)	25.0	26.0	26.0	30.0
償却費	135	146	170	170
設備投資	275	266	152	100
(為替)				
USD	105.9	121.1	108.9	110.0
EUR	140.4	134.3	120.3	120.0

# 株主への利益還元と財務体質の強化

株主への利益還元と中長期的な企業価値の向上の両立を図る



	2013	2014	2015	2016	2017 予定
年間配当金	22	25	26	26	30
配当性向	25.7%	19.0%	12.0%	-%	32.7%

150~200億円のFree Cash Flowを創出し、着実に正味有利子負債を削減

# 新しいガバナンス体制

ガバナンス体制の強化を目的に、社外役員を増員する

	2014	2015	2016	2017 予定
取締役総数	5	7	8	9
社外取締役	0	2	2	4
社外比率	0%	29%	25%	44%

社外取締役4名全員を、3月の株主総会にて選任後に、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に対し届け出る予定です。

# 社外取締役の紹介① 現任

青山 藤詞郎（あおやま とうじろう）

社外取締役

## Experience and Responsibilities

青山藤詞郎氏は、慶應義塾大学理工学部教授及び同学部長であり、ドイツ アーヘン工科大学での研究経験ももち、CIRP（国際生産工学アカデミー）に所属している日本を代表する工作機械研究の権威の一人です。

機械工学・生産工学をはじめとする分野について幅広く卓越した知見と豊富な経験にもとづき、社外取締役としての職務を適切に遂行しております。

## 社外取締役の紹介② 現任

野村 剛 (のむら つよし)

社外取締役

### Experience and Responsibilities

野村剛氏は、パナソニック株式会社の常務取締役等を歴任され、長年の経営経験と生産技術・品質・環境分野で培われた業務経験と幅広く高度な見識を当社の経営に活かしたく、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、当社はパナソニック株式会社とは取引はあるものの、その過去3年間の取引高とその連結売上高に対する割合はつぎのとおりであります。

年	取引高 (百万円)	当社連結売上高 に占める割合
2014年	-	-
2015年	26	0.01%
2016年	109	0.03%



## 社外取締役の紹介③ 新任候補者

中嶋 誠 (なかじま まこと)

社外取締役候補者

### Experience and Responsibilities

中嶋誠氏は、特許庁長官や住友電気工業株式会社の取締役等を歴任され、また弁護士資格をお持ちであることから、豊富な経営経験に加え法曹としての見識を当社の経営に活かしたく、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、当社は住友電気工業株式会社とは取引はあるものの、その過去3年間の取引高とその連結売上高に対する割合はつぎのとおりであります。

年	取引高 (百万円)	当社連結売上高 に占める割合
2014年	62	0.04%
2015年	238	0.06%
2016年	537	0.14%



## 社外取締役の紹介④ 新任候補者

御立 尚資（みたち たかし）

社外取締役候補者

### Experience and Responsibilities

御立尚資氏は、株式会社ポストン・コンサルティング・グループにおける長年の経営コンサルタントまた経営者としての豊富な経験・専門知識をお持ちであり、これらを当社の経営に活かしたく、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、当社と株式会社ポストン・コンサルティング・グループとの間に取引はございません。

# 当社の企業理念及び財団設立について

当社の企業理念の実現及び企業の持続的成長を目的として、財団によるCSR活動を実施する

## 【当社経営理念】

私たちは、独創的で、精度良く、頑丈で、故障しない機械を最善のサービスとコストでお客様に供給  
することを通して、旋盤、マシニングセンタ、複合加工機、研削盤で、グローバルワンを目指す  
私たちは、工作機械産業を理解する株主の為に企業価値を高め、株主利益の拡大を図る  
私たちは、責任ある企業市民として地域、社会に貢献する  
私たちは、環境資源を大切に地球環境を守る

## 【財団の概要】

名称 : 一般財団法人 森記念製造技術研究財団 (2016年3月18日設立)  
(英文名称 Mori Manufacturing Research and Technology Foundation)  
代表理事 : 森 雅彦 (理事の過半数が社外からの招聘)  
活動内容 : ①工作機械の技術に関連する研究開発支援事業  
②人材育成支援事業  
③地域の文化的な環境構築に関連する支援事業

# 当社のCSR活動①

当社のCSR活動は最終的には企業価値の向上に繋がっていく

## 研究開発支援事業

UC Berkeley, UC Davis, 京都大学等の  
工作機械研究への支援

工作機械技術の進歩及び産業  
の裾野の拡大

## 人材育成事業

奨学基金の設立、寄付  
大学の人材育成プログラムへの寄付

優秀な人材の獲得

## 地域の文化的な環境構築の 支援事業

複数の市町村主催の行事に協賛金

企業の信頼性向上、従業員の  
士気向上

**企業価値向上**

# 当社のCSR活動②

## 研究開発支援事業

- UC Berkeley  
工作機械の省エネの研究
- UC Davis  
積層加工における金型の製造技術の研究
- Leibniz University Hannover  
工作機械主軸のセンシング技術研究
- University of Ljubljana  
積層加工用のリングレーザの開発
- 東京大学  
工作機械のセンシング技術の研究
- 京都大学  
積層加工における温度測定法の研究
- 慶応大学  
積層加工における温度シミュレーション技術  
研究
- 慶応大学  
積層加工における空孔の少ない材料を製造  
する技術研究
- 広島大学  
5軸加工機の精度測定方法の研究

## 人材育成事業

- DMG MORI奨学基金への拠出
- 京都大学の人材育成プログラムへの支援

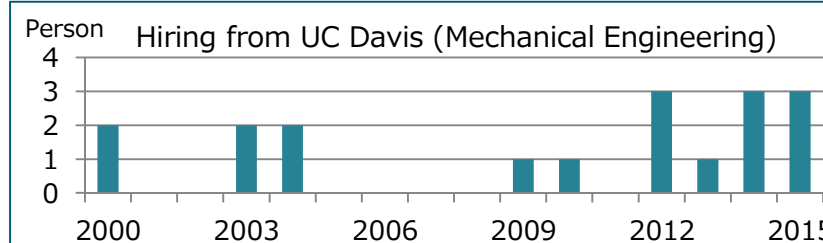
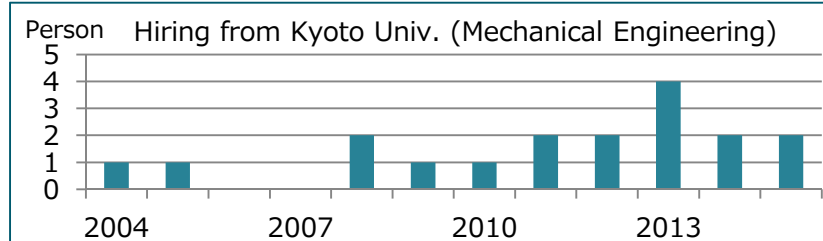
## 地域の文化的な環境構築の 支援事業

- 伊賀市市民打ち上げ花火大会への協賛
- 名張川納涼花火大会への協賛
- 大和郡山お城まつりへの協賛

積層加工の画像



京都大学、UC Davis機械系からの人材採用推移



# 財団によるCSR活動のための新しいスキーム

CSR活動を継続的に安定して実施することを目的として、自己株式を活用して配当金をCSR活動の原資とするスキームを導入する

- ①自己株式3,500,000株を1株1円で割当  
(発行済株式総数対比：2.63%)
- ②当該株式の配当を財団の活動原資とする
- ③現状の年間26-30円の水準では、配当により財団の活動原資の3-4割が賄われることとなるが、今後の増配に伴い、その比率が上昇していく見通し

# 財団による新しいスキームのメリット

## ① 財団の財源の確保と株主利益へのベクトル統一

(1) 業績向上による配当増加



(2) 財団の財源安定とCSR活動の強化



(3) 当社の中長期的な企業価値向上

## ② 税負担の軽減

限度枠を越える部分は損金計上不可となる現金寄付よりも、配当による方が税負担が軽減される

# 懸念点・デメリットを回避する方策

このスキームを実施する上で考えられる懸念点・デメリットを回避する目的で、自己株式の買い入れ・消却、信託スキームの採用を行う

## ① 株式価値の希薄化への対応

⇒ 市場からの自己株買い入れを実施 (3,500,000株、5,250百万円)

⇒ 自己株消却により将来の市場放出の懸念をなくす (3,500,000株)

## ② 議決権行使上の規律の問題

⇒ 信託スキームを採用

- 当社・財団は信託銀行に議決権行使の指図ができない契約

- 当社・財団はこの契約の規定を変更する意図はない

- 信託銀行の営業部門と、議決権行使部門との間には厳格なウォールがあり、同社の議決権行使ガイドラインに基づく客観的が担保されている



## 株主総会までのスケジュール

2月10日：当社取締役会にて株主総会付議事項を決定

3月2日：株主総会招集通知をWEBに開示

(東京証券取引所及び当社ホームページ)

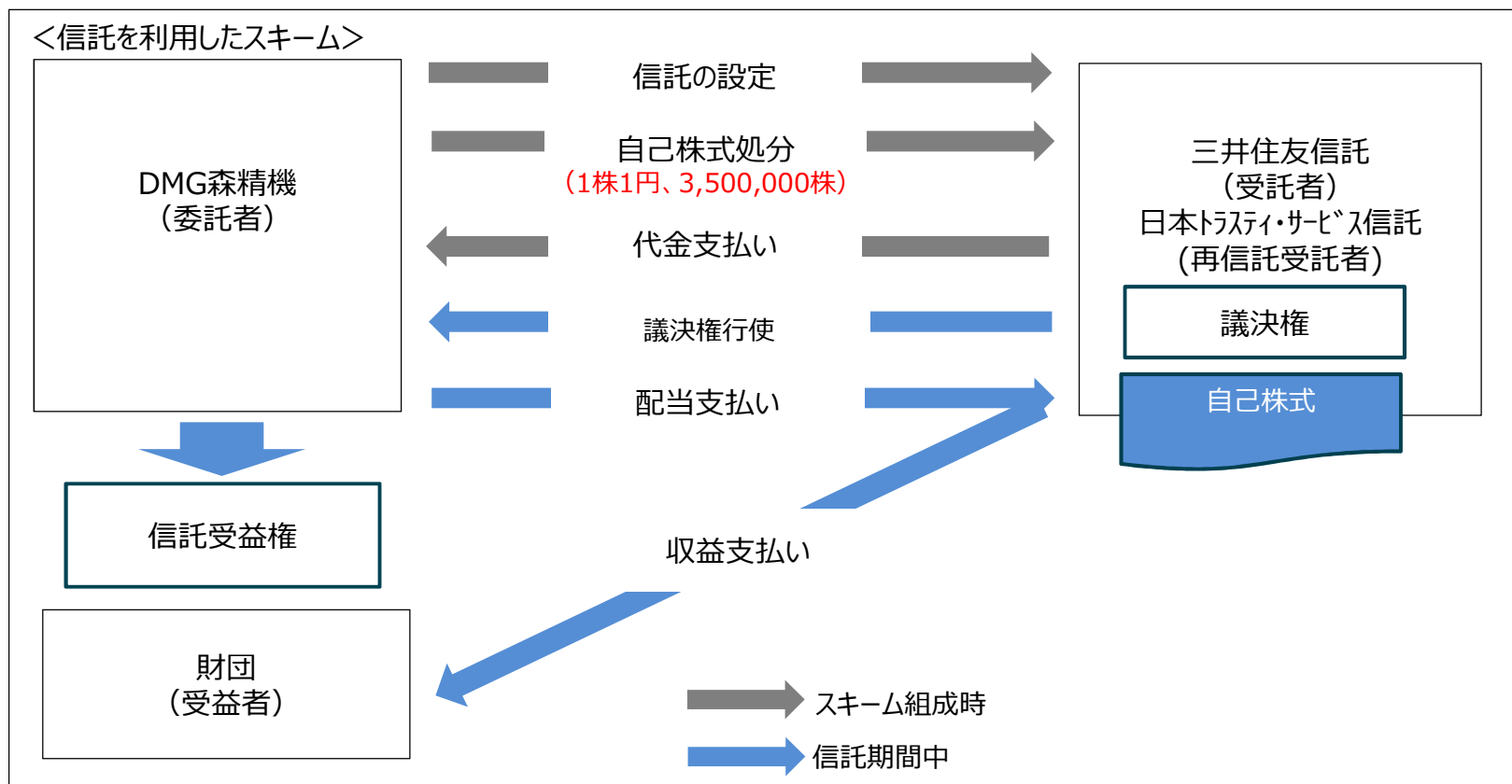
3月3日：株主総会招集通知を発送

3月22日：株主総会開催

# Appendix. 信託スキームの概略図

## <目的>

- ① 財産の保全及び効率的な管理
- ② 議決権を分離して客観的な基準による行使を担保



# Appendix. 当社経営理念

私たちは、独創的で、精度良く、頑丈で、故障しない機械を最善のサービスとコストでお客様に供給することを通して、旋盤、マシニングセンタ、複合加工機、研削盤で、グローバルワンを目指す

私たちは、最新、最高の開発技術、正確、緻密な生産技術、的確、迅速な、販売・サービスで、全世界のお客様の生産性と効率性の向上の為に不断の努力を行う

私たちは、チームワークを重視し、まじめで情熱的な努力を評価する。元気良く、活気があり、陽気な職場で互いの意見を尊重し、日々の改善改良を行い、切磋琢磨して共に成長する

私たちは、グローバルに展開する企業として、公正でオープンな企業文化を育み、世界最適経営を実践する

私たちは、サプライヤーと共に繁栄する

私たちは、工作機械産業を理解する株主の為に企業価値を高め、株主利益の拡大を図る

私たちは、私たちの提供する商品、サービスの価格設定が企業の繁栄、永続の為に非常に重要であると考えている

私たちは、将来の研究開発のため、安定したお客様サービスのため、継続的な社員教育のため、環境良く効率的な工場、安全な労働環境を維持するために必要な、キャッシュフローを得る為に、適切な利潤を得る

私たちは、責任ある企業市民として地域、社会に貢献する

私たちは、環境資源を大切に地球環境を守る

私たちは、高い倫理観を持って、社会良識に準拠した企業活動を行う